

## 文庫めぐり

(9)

## 内藤記念くすり博物館付属図書室

〔来歴と概要〕 内藤記念くすり博物館は、薬業や医療に関する約五万点の資料と、江戸時代から明治初期の貴重書をはじめ、医薬学の歴史的分野に関する図書五万三千点を所蔵している。一部の資料は展示室を通じて、見学者の方々に公開しているが、施設の中に、医薬学の専門図書室が設けられているのも特徴である。図書室の存在は、一般にあまり知られていないが、展示室から少し離れた場所にあり、研究者の利用に供している。

所蔵図書は博物館設立時、清水藤太郎先生の「平安堂文庫」や緒方知三朗先生の「緒方長寿文庫」などを核として構成された後、杉本勲先生、村松文雄先生などの旧蔵書の寄贈を受けて成り立っている。さらに、明治に浅田宗伯から学んだ漢方医中野康章先生の「大同薬室文庫」の寄贈を平成六年に受けたことにより、内容は一層充実したものとなった。約二万点の和装本を中心とする「大同薬室文庫」は現在整理中だが、近く研究者に公開したいと考えている。主な蔵書は、江戸時代から昭和初期の東洋医学書や薬物書、本草書などの和装本が全体の半数を占め、残り半分は、初版から今日まで版が揃っている日本薬局方や薬品辞典、

逐次刊行物などを始め、日本の医薬学発達の歴史を語る図書を含んでいる。

二〇〇一年に内藤記念くすり博物館は開館三十周年を迎える。現在、記念出版として大同薬室文庫蔵書目録と内藤記念くすり博物館和漢古典籍目録の刊行を予定している。

将来的には、博物館本館の南側に位置する展示棟と対照する形で、北側に図書館棟を増築し、付属図書館を建設する予定である。医薬学発展の歩みを伝える貴重図書の収集保管を確実に行い後世へ伝えていく傍ら、多くの人々が利用しやすい博物館として、一層充実した文化施設を目指している。

〔開館時間〕 9時～16時

〔休館日〕 月曜日・12月28日～1月8日

〔所在地〕 〒501-6195 岐阜県羽島郡川島町竹早町一

TEL〇五八六八九―二一〇一・FAX〇五八六八九―二一九七

〔利用法〕 学術研究または調査を目的とする者は誰でも利用可。博物館受付にて規定の利用申込用紙に記入して手続きを行う。一般図書については図書貸出しやコピーなどのサービスも行っている（一部貴重書は除く）。

（青木 允夫）